

広域事務に係るこれまでの取組等

「産業振興」

関西のもつ産業集積・インフラ、人材等のポテンシャルを生かして、関西全体の活性化と国際競争力を強化していくため、関西が目指すべき将来像と目標並びにその実現に向け取り組むべき戦略を「関西広域産業ビジョン 2011～日本の元気を先導する関西～」として取りまとめ(平成 24 年 3 月)、これに基づき以下の重点項目を着実に推進している。

1 世界の成長産業をリードするイノベーション創出環境・機能の強化

第 1 期 (H22～25) では、ライフイノベーションをテーマとしたフォーラムの開催や WEB ページによるイベント情報等の情報発信を行った。

第 2 期 (H26～28) では、日本初の医療の総合展「メディカルジャパン」を誘致し、ブース出展したほか、大学等の研究成果と企業のマッチングを目的としたセミナー等を開催するなど、国内外に向け、関西の産業ポテンシャルを発信し、域内への投資や企業立地につなげることに努めた。また、医療機器分野の参入に向けた医療機器相談の実施や「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の開催を通じて、ライフサイエンス分野やグリーン分野の域内企業参入等に向けた取組を進めた。

第 3 期 (H29～31) においても、引き続き「メディカルジャパン」を活用し、各拠点間ネットワークの形成等イノベーションを創出するための環境整備や機能強化を通じて、関西のポテンシャルを最大限発揮する取組を行っている。

2 高付加価値化による中堅・中小企業等の国際競争力の強化

第 1 期 (H22～25) では、構成団体が設置する工業系公設試験研究機関の機器利用等について、広域連合域内に所在する企業に限り、自府県市以外の企業への割増料金を解消するとともに、開放機器・依頼試験の検索機能やイベント情報等を掲載したポータルサイト「関西ラボねっと」を開設した。

第 2 期 (H26～28) では、工業系公設試験研究機関の割増料金解消の取組を継続するとともに、公設試の研究成果を発表する企業向け研究会を開催することで、各公設試験研究機関の技術シーズと企業のマッチングを促したほか、大阪府が設置する海外の企業支援拠点「ビジネスサポートデスク」の全構成団体での共同運用により、域内企業の海外展開を支援した。

第 3 期 (H29～31) では、様々な業種やステージにある中堅・中小企業に対し、公設試験研究機関による技術支援や、アジアをはじめとする世界各地でのビジネス展開支援を行うとともに、規模は小さいものの優良な中小企業のビジネスモデルの事例を情報発信することでその成長を支援している。

3 「関西ブランド」の確立による地域経済の戦略的活性化

第1期（H22～25）では、大規模展示会等への出展によるPRや、中小企業と大企業とのビジネスマッチング商談会を開催するなど、中小企業等のビジネスチャンスの拡大に取り組んだ。

第2期（H26～28）では、広域観光・文化・スポーツ振興局と連携し、トッププロモーションを行うなど海外に向けて産業ポテンシャルの情報を発信し、域外における認知度やイメージの向上に努めるとともに、農林水産部と連携し、域内商工業者が府県域を越えて農林水産業者とのマッチング事業に参加できるように広報協力を行い、広域的な農工商連携を促進した。

第3期（H29～31）では、国内外において関西の優れた製品のプロモーションを展開するなど、引き続き関西の認知度向上に努め、域内企業の他地域や海外への市場展開の拡大に向け、取り組んでいる。

4 企業の競争力を支える高度産業人材の確保・育成

第1期（H22～25）では、広域連合と産業界、関西地域に存する大学コンソーシアム・大学等関係機関による連絡会議である「高度産業人材に関する関西広域産学官連絡会議」を設置・開催し、高度産業人材の確保・育成に関して情報交換・意見交換を行った。

第2期（H26～28）では、教育機関と産業界の連携によりインターンシップ事例集を作成・公表し、インターンシップの普及を促進した。

第3期（H29～31）においても、引き続き「高度産業人材に関する関西広域産学官連絡会議」を開催し、教育機関と産業界の連携を促すことにより、市場ニーズに対応した高度産業人材の確保・育成を推進している。